

主催：日本大学 生物資源科学部 生命化学科

共催：公益社団法人 日本農芸化学会

生命化学セミナー

タマネギの催涙性成分合成酵素の 発見と、その応用研究

講師：ハウス食品グループ本社 中央研究所

今井 真介 先生

日時：平成 25 年 11 月 22 日（金） 16:20～17:50

場所：日本大学 生物資源科学部 本館 3 階 大講堂

タマネギは、トマトに次いで世界中で2番目に生産量が多い野菜であり、色々な料理に利用されています。従って、タマネギを切ると催涙性のある成分が発生することは、多くの人に知られた現象であり、当然その発生の機構については、研究がし尽くされていたと思われていました。

日本大学 生物資源科学部 生命化学科では、学部生、大学院生、教職員を対象とした「生命化学セミナー」を毎年開催しています。第9回目となる今回は、公益社団法人 日本農芸化学会共催のもと、タマネギの催涙成分生成合成酵素の発見によって2013年イグ・ノーベル化学賞を受賞されました今井真介先生に、この酵素発見までの経緯や、この酵素の応用についてご紹介していただきます。

問い合わせ先：日本大学 生物資源科学部 生命化学科

seimeika@brs.nihon-u.ac.jp

第10回 生命化学セミナー

植物における

グルタチオン代謝機構の研究

講師：東京農工大学 農学研究院 講師

大津 直子 先生

日時：平成25年11月30日(土)13:00～14:30

場所：本館53講義室

グルタチオンは抗酸化物質としてすべての生物において重要な役割を果たしていますが、植物においてはストレス応答だけでなく、有機態硫黄の貯蔵形態としても機能しています。グルタチオンは篩管を通過してシンク器官へ送られた後、分解を受けて様々な代謝産物に硫黄を供給しますが、その分解経路は未解明でした。本セミナーでは、大津 直子 先生に、これまでのご研究の中で明らかにしてきた、植物においてグルタチオン代謝を担ういくつかの酵素の生理的意義についてお話しいただきます。

生命化学科の教員、院生・4年生に限らず、各学科 教員、学生の御参加を心よりお待ちしております。

担当：野口（内線2616）・平野（内線2610）